

# 自動車・二輪車機器事業における経営統合について

CASE分野においてグローバルで競争力のあるソリューションを提供する  
グローバルメガサプライヤーへ

2019年10月30日  
日立オートモティブシステムズ株式会社  
プレジデント&CEO  
ブリス・コッホ

---

## **[目次]**

- 1. 概要**
- 2. 背景と目的**
- 3. 統合会社の強み**
- 4. 統合会社の長期的経営ビジョン**
- 5. まとめ**

## 統合会社に関する企業



### 統合会社の概要

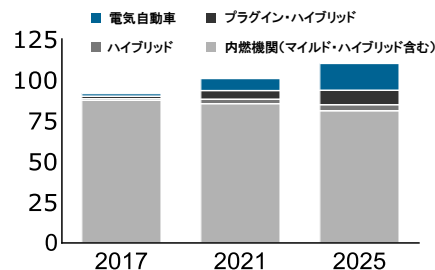
名称	・日立オートモティブシステムズ株式会社(仮)
所在地	・茨城県ひたちなか市高場2520(仮)
代表者	・ブリス・コッホ*
事業内容	・自動車部品及び輸送用並びに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売及びサービス(仮)
資本金	・ TBD
持分比率	・ 株式会社日立製作所:66.6%、本田技研工業株式会社:33.4%
実施計画事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営統合に関する基本契約書の締結:2019年10月30日</li> <li>・ Hondaによるケーヒン、ショーワ、日信工業の公開買付け</li> <li>・ Hondaによるケーヒン、ショーワ、日信工業の完全子会社化</li> <li>・ 統合会社設立(吸収合併)</li> </ul>

・ 新統合会社の取締役会で正式に決定されます。

自動車・二輪車業界は100年に一度と言われる大変革時代に直面しており  
電動化や自動運転、コネクテッドカーなどの分野で競争が激化

## エンジンの内燃機関から 電動パワートレインへのシフト

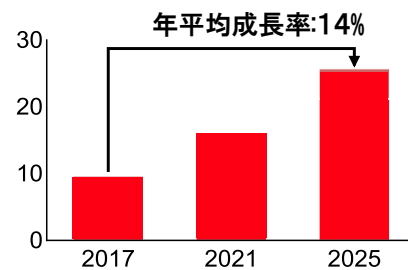
世界のエンジン生産  
(2017-2025 単位:100万台)



出典: LMC Automotive

## 自動運転・先進運転支援 システムの成長市場

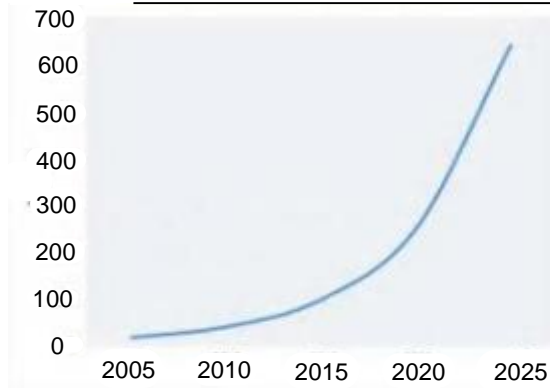
市場規模  
(2017-2025 単位:10億米ドル)



出典: Goldman Sachs

## 一台当たりのソフトウェア コード行数

(百万行)



出典: NXP Semiconductors

車両の電子/電動化およびコネクテッド化に伴い膨大なソフトウェアが必要

安全性・快適性を向上し環境負荷低減させるのは、  
CASE分野での対応の進展に伴う新たな技術・ソリューションの開発

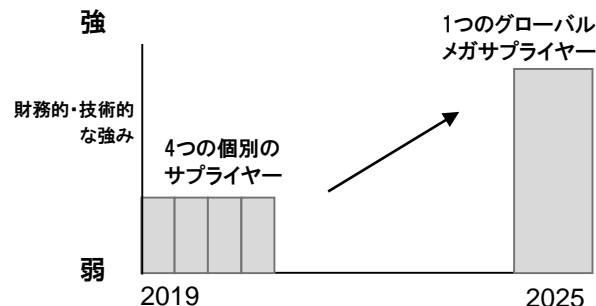
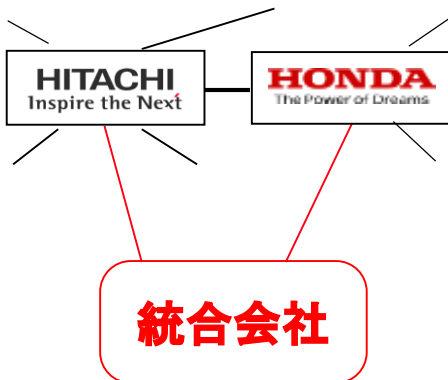
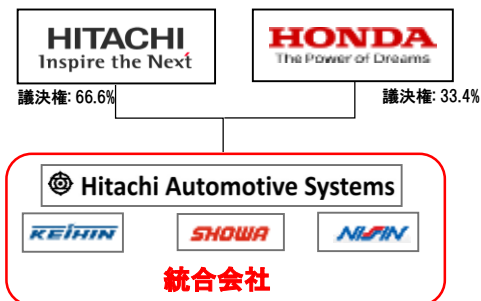
パワートレイン、車両運動制御、自動運転・先進運転支援システムにおける  
包括的なソリューションの提供が求められる時代に

# 背景と目的－各社にとっての意義

日立オートモティブシステムズ、  
ケーヒン、ショーワ、日信工業にとって

Hondaと日立製作所にとって

グローバルリーダーシップ  
ポジションの確立



## 統合する会社にとってのメリット

- 各社の強みを融合し、グローバルで競争力のあるソリューションを提供するグローバルメガサプライヤーの立ち上げ
- 電動パワートレイン、先進シャシー、自動運転・先進運転支援システム分野における優位技術実現のリソース確保
- 将来技術開発のリソース創出

## 両社にとってのメリット

- Hondaにとっては強力な開発パートナーの確保。  
日立製作所にとっては自動車分野の強化
- 新たな価値の創造と社会への貢献

## 市場ポジション (2025)

- 統合により、主力製品でグローバルリーダーシップポジションを構築
- ケーヒン、ショーワ、日信工業の2輪ビジネスにおけるリーダーシップポジションの活用
- さらなる拠点拡大によるグローバル供給の強化

各社の強みを融合し、  
CASE分野においてグローバルで競争力のあるソリューションを提供する  
グローバルメガサプライヤーの立ち上げ

**HITACHI**  
Inspire the Next

 Hitachi Automotive Systems

**HONDA**  
The Power of Dreams

**KEIHIN**

**SHOWA**

**NISIN**

- ・ 日本発のグローバルメガサプライヤー立ち上げによる自動車業界のけん引
- ・ 各社の強みを活かした、内燃機関と電動パワートレイン、先進シャシー、自動運転・先進運転支援システム分野における先進技術開発に向けたシナジーの最大化
- ・ 競争力強化のためのビジネススケール確保と量産規模の拡大
- ・ 各社の開発リソース活用による新たな価値の創造と開発の効率化
- ・ 開発パートナーの確保

持続可能な社会の構築および人々のQoL向上への貢献

## めざす姿

- 特化した事業領域においてグローバル・リーダーとしての地位確立
- ステークホルダー(顧客、従業員、株主)への真の価値創出
- 顕著な業績を生む基盤

## 実現へ向けた施策

- コストを含むあらゆる取り組みにおけるグローバル・リーダーシップの確立
  - 目標の実現に向けたコミットメントとエンゲージメント
  - 簡素化とスピード

特化した事業領域において  
グローバル・リーダーシップ  
ポジションを確立



選択と集中により  
競争優位性を獲得  
スケールメリットも享受し、  
(マーケットシェアNo.1～2)  
No.1をめざす

各ステークホルダー  
に向けた  
真の価値創出



従業員への支援  
株主への価値提供  
社会的・環境的価値の創出

持続可能な成長に  
向け、2021までに顕  
著な利益向上を実現



イノベティブな技術と  
ソリューションへの  
再投資に必要な  
原資の確保

# 統合会社の強みー期待されるシナジーの例

電動パワートレイン、先進シャシー、自動運転・先進運転支援システム業界をけん引する  
技術革新とともに大きなシナジーを創出

HITACHI  
Inspire the Next

Hitachi Automotive Systems

HONDA  
The Power of Dreams

KEIHIN

SHOWA

NISIN

## 電動パワートレイン

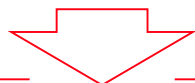
- ✓ 車両の効率的なエネルギーマネジメント
- ✓ 先進的なモーター・インバーター設計
- ✓ 材料開発技術
- ✓ プロセス開発
- ✓ 生産技術

## 先進シャシー

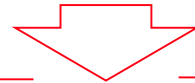
- ✓ ロボティックス技術
- ✓ 車両運動制御技術
- ✓ 人間工学
- ✓ 車両要求性能のノウハウ
- ✓ 先進シャシー機器の幅広い製品群
- ✓ 高効率生産
- ✓ グローバル・フットプリント

## 自動運転・先進運転支援システム

- ✓ 車両制御システム
- ✓ AIを基盤としたアルゴリズム
- ✓ 複雑な環境認識技術
- ✓ 統合車両運動制御技術



先進電動パワートレインの  
新モビリティパッケージ



先進統合シャシー機器の自動運転  
に向けた信頼性の高いシステム



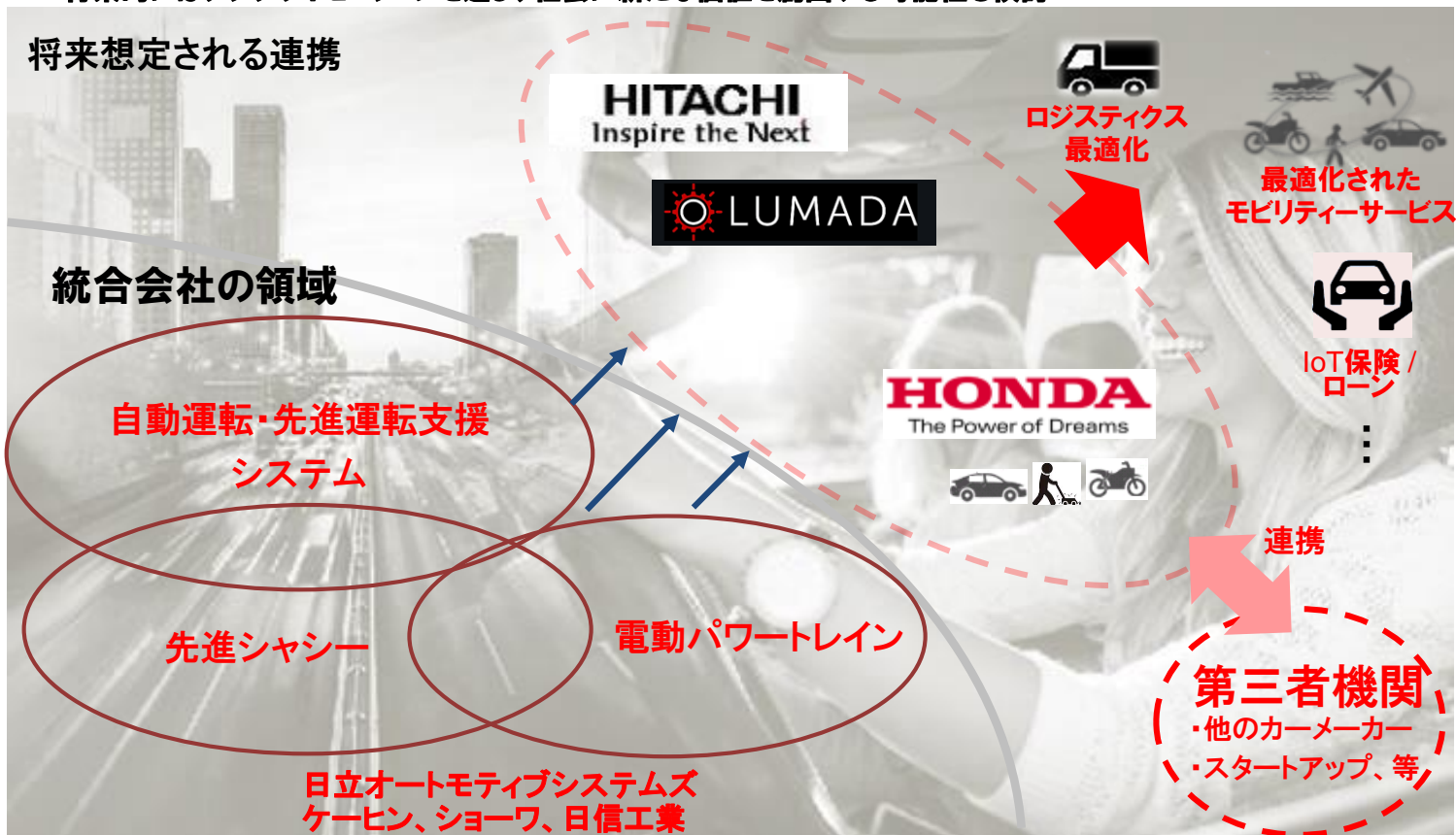
自動運転認識技術を使った  
車両の統合制御



## 将来の可能性

日立のデジタル・テクノロジー／ソリューションと、Hondaの自動車・二輪車領域への深い知見を融合することにより、主にコネクテッド領域において強力なエコシステムの構築も視野に入れ検討予定

- ・ 将来の成長のための最適なパートナー
  - ・ Hondaは競争力の強化に向けて、より強力な開発パートナーを獲得
  - ・ 日立製作所は自動車機器事業の強化
- ・ 将来的にはデジタライゼーションを通じ、社会に新たな価値を創出する可能性も検討



持続可能な社会の構築および人々のQoL向上に貢献に向けて

## 社会価値



自動運転・先進運転支援システム  
や先進シャシー制御といった先進  
技術で安全性を向上

## 環境価値



電動パワートレインや内燃機関  
制御における共同開発により、  
排気ガス低減や燃費改善を通  
じて環境保護に貢献

## 経済価値



統合により、顧客と統合会社  
における経済価値を向上



新たなモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な  
社会や、QoLの向上に貢献

## 日立オートモティブシステムズ、ケーヒン、ショーワ、日信工業は 統合会社としてさらなる成長をめざします

**1** 経営統合により、  
各社の強みを兼ね備えたグローバル・メガサプライヤーへ

**2** 100年に一度の大変革時代を迎える自動車・二輪車業界で主導的な  
ポジションを活用

**3** 安全で快適な社会の実現と、人々の移動する喜びの拡大をめざすととも  
に、自動車・二輪車業界の次世代に向けた発展に貢献

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・主要市場(特に日本、アジア、米国および欧州)における経済状況および需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足および価格の変動
- ・長期契約におけるコストの変動および契約の解除
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・製品需給の変動
- ・製品需給、為替相場および原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社および子会社の能力
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社および子会社の能力
- ・人材の確保
- ・価格競争の激化
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併および戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国および欧州)における社会状況および貿易規制等各種規制
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・自社の知的財産の保護および他社の知的財産の利用の確保
- ・当社、子会社または持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・地震・津波等の自然災害、感染症の流行およびテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・情報システムへの依存および機密情報の管理
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

**HITACHI**  
**Inspire the Next**